

プラネタリーヘルス学環の教育理念・目標

プラネタリーヘルス学環では、学際的な教育・研究を通して、人間社会と地球・生態系の共存を主要な課題とするプラネタリーヘルスの実現に貢献できる人材の養成を目的としています。この目的のために本学環の公衆衛生学博士 Doctor of Public Health プログラムでは、プラネタリーヘルスの中核となる地球規模での公衆衛生に関わる科学、政策および実践を橋渡しできるプロフェッショナル人材を養成します。

プラネタリーヘルス学環のディプロマ・ポリシー

Doctor of Public Health (DrPH) プログラムでは、必要な単位を修得し、政策提案等をテーマとして博士論文（プロジェクト論文）を作成し、最終試験に合格することを学位授与の要件とします。この学位は、以下に示すように、グローバルヘルス領域においてリーダーシップを発揮し、政策を提案、実行、評価し、地球上の公衆衛生の向上に貢献できる人材に授与します。

1. 保健政策の立案・実行・評価計画を作成することができる。
2. 保健政策の関係者（ステークホルダー）を組織することができる。
3. 保健政策の運営に必要な事項を説明することができる。
4. 過去、現在、将来の保健政策についてその背景、目的、運営方法、ビジョンを説明することができる。

プラネタリーヘルス学環のカリキュラム・ポリシー

グローバルヘルス領域の政策立案や計画の実行、評価に必要な知識やスキルを修得します。

1. プラネタリーヘルスの概要の理解
 - a. 人類の健康と文明、地球自然環境の関連性についての知識
 - b. プラネタリーヘルスが保健政策に与える示唆の理解
2. 保健政策の立案・実行・評価に必要な洞察力や分析スキルの修得
 - a. 政策過程や実装科学の理論的な理解
 - b. 保健システムの分析と提言導出能力
 - c. 政策立案・評価に使われるデータ分析法の理解

3. リーダーシップ・マネジメントに関するスキルの修得
 - a. 組織マネジメント能力
 - b. 交渉・コミュニケーション能力
 - c. グローバルヘルスガバナンスに関する知識

4. プロジェクト演習
 - a. 保健政策に関わるプロジェクトを提案し、実行する能力
 - b. 博士論文（プロジェクト論文）を執筆する能力

5. 学修の到達度は、レポート及び筆記試験、論文の質やプレゼンテーション、ディスカッションを通じて評価します。

科目に関する別表

科目等 資質等		プラネタリーヘルス	政策とシステム	データと分析	リーダーシップとマネジメント	実習科目
主として養われる資質	プラネタリーヘルスの概要の理解	・プラネタリーヘルス特論				
	保健政策の立案・実行・評価に必要な洞察力や分析スキルの修得		・政策過程特論 ・実装科学特論 ・保健システム特論	・政策分析法特論		
	リーダーシップ・マネジメントに関するスキルの修得				・組織マネジメント特論 ・渉外マネジメント特論 ・グローバルヘルスガバナンス特論	
	プロジェクト演習					・実務研修 ・DrPHプロジェクト

プラネタリーヘルス学環のアドミッション・ポリシー

入学者に以下の資質・素養を求めます。

1. 修士（公衆衛生学）あるいは、それと同等以上学位号保有者
2. 4年以上の関連分野における実務経験（*）
3. 英語による授業科目の受講や研究指導を受けるに必要な英語力を有していること、その他に習得した言語能力を有する場合は別途評価します。

これらに加え、保健政策の形成や実践を前進させることに強い意欲及び明確なビジョンを持つ候補者を歓迎する。とくに、入学以前の経験を踏まえ、DrPHプログラムにおいて主体的に学習し、その成果をキャリア形成に有効に活かせる候補者が望ましいです。

（*）関連分野として公衆衛生、保健医療、健康科学、自然環境、社会開発、平和構築、国際協力、公共政策、組織経営など幅広い分野からの応募を歓迎します。政府・民間部門を問いません。勤務地の国内外を問いませんが、開発途上国における経験があると望ましいです。原則として、インターンやボランティア活動等は、実務経験とはみなしませんが、別途考慮します。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重（特に大きい比重:◎, 大きい比重:○））

入試区分		求める資質	修士（公衆衛生学） あるいは、それと同等以上学位号保有者	4年以上の関連分野における実務経験	英語力
一般入試	出願書類		◎	◎	○
	外国語検定試験				◎
	面接			◎	○